

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス近江堂教室			
○保護者評価実施期間	2026年1月1日		～	2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2026年1月1日		～	2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	約2,000種類におよぶ豊富な教材を取りそろえ、経験豊富なスタッフを配置している。 また、実際の支援の様子はマジックミラー越しにご覧いただける環境を整えており、お子さまの成長を保護者様とともに喜び、共有できるスタイルとなっている。	無料体験レッスンや内覧会、また日頃のレッスン時間の中で、子育てサポート支援や家族支援を取り入れて、各ご家庭に合わせた相談支援を行っている。	ご家族様のご要望に応じて通園先を訪問し、職員が日頃の様子を見学する。あわせて園との情報共有を行い、その内容を保護者様へフィードバックすることで、お子さまの成長の様子を共有していく。 また、園での様子も踏まえながら、お子さまに必要な取り組みをレッスンの中で提供できるよう努めていく。
2	個別のスキルや経験を重ねるだけでなく、2～5名程度から取り組める小集団レッスンを提供し、お友だちを意識する中で、集団行動のルールや、関係性、対人スキルを学ぶことができる。	通園先ではなかなか自分の力を発揮することが難しいお子さまにも、気持ちに寄り添いながら支援を行う。小集団中での関わり方や、指導員からの指示の理解とそれに応じた行動、自分の力を発揮する経験などにスモールステップで取り組み、自信へとつなげていくことに努めている。	定期的なイベント（コミュニケーショントレーニング）などを通じて、小集団を利用されるお子さまが増えるよう働きかけ、様々なお友達と小集団を経験し楽しめる環境作りに努めている。
3	お子さまの現状を十分に理解し、通所されているお子さまと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画に反映させている。	最低でも半年に一回モニタリングを実施し、保護者様の思いやお子さまの様子から個別支援計画を立案し、職員間でも会議、共有した上で作成をしている。	個別支援計画は半年に一回に限らず、必要に応じてお子さまの成長に合わせて適宜更新する。 また、相談支援事業所を利用しているお子さまについては、関係機関と密に情報共有を行い、より良い支援の実現に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トイレは和式のみであるため、使用しにくいとの声を実際に受けている。 また、事業所は3階にあるが、エレベーターは2階までしか稼働せず、ベビーカーなどを使用する保護者にとって大変不便である。	法人にも報告し検討中	法人にも報告し検討中
2	当該事業所は駅から徒歩約10分という場所にあり、電車で通所されるには遠く敬遠される。また事業所前道路は非常に狭いにもかかわらず、多くの地元住民の生活道路となり交通量が多く、自転車で通所する保護者からは怖いとの意見が寄せられている。さらに、提携駐車場の設置を求める要望もある。	法人にも報告し検討中	法人にも報告し検討中
3	同事業所で児童発達支援も運営しており、時間帯によってはレッスン室が埋まり、個別での対応が難しい場合がある。	ご利用者様の利用予定の調整が不足している。	様々な状況に対応できるように教室運営を行う。